

羽島市議会議員の定数を定める条例(改正案)に対する意見内容と議会の考え方

No.	受付日	ご意見(意見等の概要)	理由	議会の考え方
1	8月19日	今回、市議会議員の定数を18人から16人へと2名の削減するとの条例改正であるが、まだまだ生ぬるい改正である。	全国の自治体には、本市より人口規模が相当大きいのに関わらず議員定数が少ない若しくは同じ自治体が多く存在する(別添表のとおり)これらの自治体の議員は自治体の隅々まで市民の意見要望などを聞き議会に反映させている。本市もこれに倣い議員の定数をさらに削減すべきであるとする。私は、市民概ね5, 000人で一人の議員で足りると考える。ゆえに本市の議員定数は12人から13人が本来の適正人数であるとする。岐阜県の実験先駆けとして、さらなる削減を強く希望するものである。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。
2	8月21日	定数削減に反対します。数を減らせば、良い議会になると言う理由は、まったく理解できません。	過日、市民の声を聞くシンポジウムが開かれ、多くの人が反対意見を述べました。それで削減案が上程された事は、市民の声を無視していますので、断固反対します。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。
3	8月25日	定数17人 1人減	・若い世代の市議員参入を大きくハードルを上げることになり、現職で地盤、組織力が有る位向けとなっている。 ・市議員を減らすということは、それだけ市民の声が議員を通じて伝わりにくくことにつながってしまう。 ・今年3月までは定数減-1と聞いていたが、なぜ2減となったのか？ 市政側に有利に働くことだと考える。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。
4	8月27日	羽島市議会議員定数を2人減とする条例(案)に反対します。	1 私たち羽島市民の声が議会に届きにくくなります。多様な声を反映するには、もっと議員を増やすべきです。 2 2人減の理由が分かりません。財政見直しなら他にもすることがあるでしょう。市議会だよりもカラーにする必要がありません。 3 一部の議員、市民の意見で決めないでください。アンケートは一部の方の声です。市議会の意見交換会の結果は無視されています。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。
5	8月27日	羽島市議会議員定数を2人減とする条例(案)に反対します。	昨年8月の「定数や報酬などの意見交換会」に参加しました。市政に対して自由に意見が言え、また、議員の方々が身近に感じられ、参加して良かったという感想を持っていました。ところが、今回、いきなりの2名減の案に驚くばかりです。「公平・不偏の立場で」というなら、あの会でののおおかたの意見、定数は減らさなくていい。それより中身こそ大事、という声を反映すべきではないでしょうか。市議会の果たす役割と責任が重要と書いてあります。そう思うからこそ、昨年の会に出席したのです。顔を見て、意見を言った市民の声も反映すべきです。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。
6	8月30日	議員定数削減に反対	・歳出の削減が目的であれば、不要な事業を見直すことが本筋である。一般会計の1%にも満たない議会費から定数削減による歳出削減効果は薄い。 ・議会の役割を果たすためには多様な意見が議会の場にあることが何より肝要であり、それに逆行する定数削減のデメリットは大きい。 ・選挙で落選する人は「知名度が低い」「組織票がない」「選挙費用がない」など、議員としての質とは関係ない部分によるところがある。定数削減は、本来は能力が高くても選挙戦術が弱いだけの者を排除してしまい、結果として議員の質低下を招く可能性がある。 ・羽島市特別職報酬等審議会において、会議要旨には「3～4人削減が理想」「できる限り少ないほうがよい」など削減ありきの意見が散見される中、定数削減を否とする意見は全くない。定数削減のメリット、デメリットを十分に理解された上で中立かつ冷静な議論がなされていたのか、会議要旨からは感じられない。	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。

No.	受付日	ご意見(意見等の概要)	理由	議会の考え方
7	8月31日	議員定数2人減の案に賛成いたします。早期実現に向けて取り組んでください。	コストの削減が図れること 今後も人口減少が予想されることとそれに伴う 税金の増加も見込めないため	これまでに、自治委員会や商工会議所、市民団体から定数削減の要望があり、市民アンケートにおいても削減すべきとする意見が多数を占めた。また、議員報酬の審議会からは、定数2減の付帯意見があったことから2人減としたものです。